

会 議 録

会議名 (審議会等名)		第32回 相模原市地域公共交通会議				
事務局 (担当課)		まちづくり計画部 交通政策課 電話042-769-8249(直通)				
開催日時		令和元年12月27日(金)13時30分~14時55分				
開催場所		相模原市民会館 2階 第2中会議室				
出席者	委員	13人(別紙のとおり)				
	事務局	7名				
公開の可否		可	不可	一部不可	傍聴者数	1人
公開不可・一部不可の場合は、その理由						
会議次第		<p>1 開会</p> <p>2 協議事項</p> <p>(1) コミュニティバスの運行継続条件に関する考え方について</p> <p>(2) 内郷地区乗合タクシー「おしどり号」のダイヤ改正について</p> <p>(3) 篠原地区及び菅井地区におけるデマンド交通の運行状況について</p> <p>(4) 相模原市バス交通基本計画の進行管理について</p> <p>(5) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域内フィーダー系統確保維持計画</li> <li>・ノンステップバス導入促進計画</li> <li>・福祉タクシー導入促進計画</li> </ul> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>				

審議経過 ( は委員の発言、 は会長の発言、 は事務局の発言 )

## 2 協議事項

( 1 ) コミュニティバスの運行継続条件に関する考え方について

事務局にて会議資料の説明を行い、その後、質疑応答。

○運行経費の見直しを検討することに異論はない。収支率 50%の考え方もあると思うが、一定の利用者がいるもののみ 50%から 40%に下げるという考えはないのか。現在、次期計画の改定を始めたばかりであり、基準の引き下げまで検討に至っていないが、算出方法の見直しが必要なことをお示した。

○コミュニティバスに関する取組について、今後どのように水平展開していくのか。コミュニティバスについて、導入の手引きを策定し公表しており、市民の方々からも導入の要望をいただいている。現行の「バス交通基本計画」が令和 4 年 3 月で満了するため、次期計画の改定作業を進めるにあたり、費用面や地域の足を救う手段として望ましいのかどうか、改めて検討を進める必要があると考えている。

新しくコミュニティバスを検討する時の標準的プロセスはどのようなものか。

まず地域の方々で検討組織を作ってください、どれくらい乗るのか、どのルートが良いのか等、話し合ってください。実現の可能性が高ければ、例えばバスの試走や実証運行を実施している。

○交通不便地区に対して、活発な地域と活発でない地域がある中で、どこがターゲットになるのか等、市として積極的なアクションはないのか。

高齢化は加速していく。地域の方々に自分たちの地域の問題意識をもってもらうことが重要。問題を解決しようとする際にコミュニティバスだけが解決策ではないと考えるが、自分たちの近未来を見据えて意識を高く持ってもらうことが必要だと考える。その上で、地域に働きかけるなど、色々な取組みを検討してほしい。

まちづくり懇談会などで、市民の方々から交通のお話をたくさんいただくが、コミュニティバスの基本的なところから聞かれることがあり、周知が足りていないと感じる。新しい計画を作成する際には、市民の意見を多く取り入れながら方向性を決め、周知についてもしっかりと検討していく。

○南区では、4 年がかりでコミュニティバスの申請を行ったが、延長が長すぎる等の市側の指摘があり、運行に至っていない。課題を指摘するのみでなく、解決のために一緒に考えて提案してほしい。

コミュニティバスだけでなく、その他の移動手段も含めてアドバイスをさせていただきたいと考えている。

実現が難しいものについても、次につなげていくことが必要である。提案に対してイエスカノーかではなく、地域の課題に対して継続的なコミュニケーションを図りながら検討してほしい。

コミュニティバスの運行継続条件に関する考え方をこれから検討していくということについて、承認いただけるか。

○異議なし。

(2) 内郷地区乗合タクシー「おしどり号」のダイヤ改正について  
事務局にて会議資料の説明を行い、その後、質疑応答。

現行の1つの便を止めてダイヤ改正することについて、承認いただけるか。

○異議なし。

(3) 篠原地区及び菅井地区におけるデマンド交通の運行状況について  
事務局にて会議資料の説明を行い、その後、質疑応答。

○利用登録者はどのくらいいるのか。

開始した当初は数件あったが、その後ほぼ登録はない状況である。利用者としては登山、温泉など観光地があるため、市外の方もいると考える。

一つ目は、地域の方々にどれくらい浸透しているのか、どれくらいの方がシステムを知っていて必要な時に利用する意識になっているか常に様子を見続けることが重要である。すべての方が高頻度に利用するまでいかないにしても、地域の方が必要に応じて利用できる移動手段として認識してもらう必要がある。

二つ目は、リクエストをして利用できなかったといった記録が重要である。オンデマンドのサービスはいつでもどこでも乗れるので便利だと言われているが、現実にはリクエストをしてもなかなか乗れなかったりするのが現状である。車両がどのような動きをしているかなど、把握しておくことも必要。

実証実験の評価を1年先送りにするという点について、承認いただけるか。

○異議なし。

(4) 相模原市バス交通基本計画の進行管理について

事務局にて会議資料及び別紙1の説明を行い、その後、質疑応答。

○赤字路線3路線を見直してデマンド交通を走らせたということだが、どれくらいの赤字で見直したのか。

運賃収入が運行経費の27.5%を超えない場合に見直しをすることとしている。

○啓発講座等の実施のアンケート結果について、利用する予定のない人に対し、どのような対策をしていくのか。

矢部駅近くで大野北地区コミュニティバスのPRイベントを開催した際にアンケートを実施しており、運行経路外の方にもご回答いただいているため、アンケートで利用する予定はないと回答した方の多くが、利用したくても利用できない方である。

なお、運行経路内で利用する予定がないと答えた方々に対しては、コミュニティバスの制度があることを広くさまざまな方に知っていただくとともに、引き続き啓発活動等に取り組んでいく必要があると考えている。

この計画における啓発活動の意義としては、公共交通を理解していただき、乗車していただくことである。各々のライフスタイルがある中で、毎日乗車しなくても、用事や場面に応じて乗車しようと思っただけなのが第一段階だと考える。バスに対してどの地域にどのような課題があって、その課題を解決するためにはどのような啓発活動をしていけば良いのか、やり方を含めてブラッシュアップすることが重要である。

○どのような時にバスを利用したいかという質問の方が良かったのではないか。

このような場面なら利用したいという声があるはずで、北海道十勝バスでは、バス会社自ら、訪問してなぜバスを利用しないのか質問し、乗り方をシンプルにし、行先を分かりやすくしたこともある。市民が行きたいところ分かる路線図等、情報提供を行うことで、利用者は増加した事例もある。

○平成 30 年度の評価のタイミングが今回では遅いのではないか。

全部で 27 施策あり、実績値を出す都合上このタイミングとなっている。一方で、一部の指標は比較的早くお示しできるものもあるため、早い段階でお示しできるよう検討したい。

令和元年度の評価に関しては、年度明け早めに出せるようお願いしたい。

事業評価の評価案について、承認いただけるか。

○異議なし。

#### ( 5 ) 地域公共交通確保維持改善事業の事業評価について

- ・地域内フィーダー系統確保維持計画
- ・ノンステップバス導入促進計画
- ・福祉タクシー導入促進計画

事務局にて会議資料及び別紙 2、3 の説明を行い、その後、質疑応答。

○別紙 3-3 神奈川中央交通(株)の記載内容について、利用促進との記載は違うのではないか。

文言を修正する。修正案はノンステップバスの導入促進を図るために必要な台数の計画策定に努めたということとし、福祉タクシーに倣って修正する。

別紙 2-2 にポケット時刻表という具体名が出ているが、どのようなものか。地域からのニーズがあったのか。

財布に入るサイズで各地区の時刻表を印刷したものの配布を考えている。1 度配布したところ、好評であった。

### 3 その他

次回の会議について、令和 2 年 3 月 25 日の午前中の開催を予定している。詳細については改めて案内する。

以 上

## 第32回 相模原市地域公共交通会議 出欠席名簿

所属・役職	氏名	出欠
横浜国立大学 副学長	中村 文彦	出席
東洋大学 国際学部 国際地域学科 教授	岡村 敏之	欠席
一般社団法人 神奈川県バス協会 常務理事	小堤 健司	出席
一般社団法人 神奈川県タクシー協会 相模支部 常任理事	大畠 雄作	出席
神奈川県交通運輸産業労働組合協議会 事務局次長	高橋 和彦	出席
神奈川中央交通株式会社 運輸計画部 計画課長	露木 輝久	代理出席
国土交通省関東運輸局 神奈川運輸支局 首席運輸企画専門官	小泉 伸介	出席
神奈川県警察本部 都市交通対策室長	増山 靖彦	欠席
神奈川県 県土整備局 都市部 交通企画課 副主幹	齊藤 栄一	代理出席
相模原市自治会連合会 理事	落合 勝司	出席
特定非営利活動法人 男女共同参画さがみはら 理事	中西 知子	出席
公募市民	小島 祐行	欠席
公募市民	前村 一美	出席
公募市民	高田 真理	出席
相模原市 都市建設局 道路部長	田野倉 伸一	出席
相模原市 都市建設局 まちづくり計画部長	荻野 隆	出席